

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ふるさと農道緊急整備事業	会計	一般会計	事業No.	570	施策順No.	44-004
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-1-7-15-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	44 交通機関と道路の充実		事業期間	開始	6	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民及び沿線事業者(営農者)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	市民数:人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	便利で安全に移動できる						
対象をどう変えるか	進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)	58.1	62	64.2	66.2	65.7	68.2	目標達成度 B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ詳細】	上郷東地区横線部分については、改良工事が完了し舗装工事を残すのみとなり、北部山麓地区についても順調に工事が進んだ。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 上郷東地区:上郷地区下段の国道153号が慢性的な渋滞のため、本路線に交通が分散して危険な状況である。このため、幅員の拡幅・歩道の整備を行い、通行車両、歩行者及び沿線営農者の利便性向上・安全確保を図る。 総延長 L=2,350m W=6.0(7.75)片2.25m</p> <p>2 北部山麓地区:土曾川により分断されている上郷、座光寺の上段地区を結ぶ路線であり、上郷山田グラウンドから伊那南部広域農道 座光寺美女交差点間の道路を築造する。 総延長 L=3,200m W=5.5(6.5)片2.5m</p> <p>3 湯川地区:R153号との交差点改良</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1上郷東地区 (1)工事施工・用地・物件補償 2北部山麓線 (1)工事施工	1 (1)施工延長幅員 用地買収 物件補償 2 (1)施工延長幅員	1 (1)L=560.0m W=6.0(7.75) 片2.25m A=56.92㎡ 7件 2 (1)L=110.0m W=5.5(6.5) 片2.5m
23年度実施計画	1上郷東地区 (1)測量設計・工事施工 2北部山麓線 (1)工事施工	1 (1)施工延長幅員 測量設計 2 (1)施工延長幅員	1 (1)L=570.0m W=6.0(7.75) 片2.25m 測量業務 1式 設計業務 1式 2 (1)L=300.0m W=5.5(6.5) 片2.5m

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 (地)ふるさと農道(充当率90%)
	起債	75,000	75,000	73,500		
	一般財源	8,402	8,392	8,200		
	計(A)	83,402	83,392	81,700		
	人件費計(B)		0			
トータルコスト A+B			83,392			

4 事業に対する市民や議会の意見

地元自治会をはじめ関係者の事業に対する意識は高く早期完成を望む声が多い。
--------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	上郷東地区の一部及び北部山麓地区の一部完成したことにより安全な通行の確保ができた。		
	後期に向けた課題	上郷東地区及び北部山麓地区の未完成部分の改良を引き続き進める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	上郷東地区、北部山麓地区の道路拡中、歩道整備の一部完成により、通行車輛及び歩行者の安全が確保され、利便性が向上した。		
	後期に向けた課題	残りの未改良区間の改良に取り組み、全線での完成により、成果を向上させることができる。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	道路構造物などの工法を見直すなどして、縮減を図った。		
	後期に向けた課題	工法の見直しや、効率的な事業実施により、コスト縮減を図りたい。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市道の整備であり、道路管理はとして道路整備を行った。		
	後期に向けた課題	市道の整備であり、引き続き道路管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①市道の管理者は飯田市であり、通行車輛及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性向上の道路整備。		
	後期に向けた課題	①市道の管理者は飯田市であり、通行車輛及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性向上の道路整備。		
全体を通じて	4年間の振り返り	上郷東地区、北部山麓地区の一部完成区間に置いて、道路利用者及び沿線営農者の利便性の向上・安全確保を図ることができた。		
	後期に向けた課題	引き続き、未改良区間の拡中改良、歩道整備に取り組むことにより、道路利用者及び沿線営農者の利便性の向上・安全確保を図る。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------